

北九州革新懇ニュース

平和・民主・革新の日本をめざす北九州の会
 〒803-0817 北九州市小倉北区田町13-21 田町ビル3F
 TEL093-592-5000 Fax093-571-4346
 E-mail k-kakushinkon@ace.ocn.ne.jp

全国革新懇「三つの共同目標」

1. 日本の経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
2. 日本国憲法を生かし、自由と人権・民主主義が発展する日本をめざします。
3. 日米安保条約をなくし、非核・非同盟・中立の平和な日本をめざします。

北九州革新懇 インタビュー

プロフィール 石井 方子(いしい まさこ)さん

1930年昭和5年生 八幡東区在住
 八幡東区九条の会・事務局長
 ご自身の体験を通して平和の大切さを呼びかけています。



9月吉日、八幡西革新懇一嶋國勝と池村好順が石井方子さんを自宅に御訪問し、お話を伺いました。

○「宜しく願います。石井さんは現在、八幡東区九条の会・事務局長をされているわけですが、戦時・戦後の体験がご自身に大きな影響を与えていると聞いています。印象に残っている体験を最初に聞かせていただけないでしょうか。」

— 私は1930年昭和5年生まれ、85歳です。終戦は15歳。いつの間にか私たちが語り継ぐ世代になってしまいました。

昭和19年に入ると米軍の本格的な本土空襲が始まりました。北九州の八幡製鉄所への空襲がその最初です。私の父は開業医でしたので、父の医院は拠点の救護所とされました。そして、昭和19年6月16日の最初の空襲に続く8月20日の空襲。風を切る音がザーッとして、爆弾が落ちてきました。防空壕に隠れましたが、今度は自分の上に落ちるのかと息を詰めました。祝町に爆弾が落ちました。けが人と死者がでました。女学生が一生懸命手当をしました。父親を残して一家全滅

の家族がふた組、十数人も待合室に並べられました。窒息した人は、顔色はまだ赤く生きているみたいでした。その家族の父親が夜になって駆けつけました。子どもを抱きしめ、「お父さんが悪かった！」と幾度も繰り返し号泣しました。周りにいた人もみんな声をあげて泣きました。きっと父親は「自分一人だけ生き残った、傍にいてやれなくて許してくれ！」と号泣したのだと思います。私は「ちっとも悪いことなんかない」と思いながら泣きました。蝋燭の炎が揺れた待合室から泣き声が漏れてきました。今でも、決して忘れられません。

○「八幡空襲の、悲惨な様子が伝わってきます。石井さんはその後、小倉造兵廠へ動員となったそうですが・・・。」

— 13・14歳の学生に動員令がだされ、昭和19年2年生の秋、私は小倉造兵廠へ動員となりました。陸軍直轄の兵器工場です。「学徒」の腕章をつけ鉢巻をして、軍歌や動員学徒の歌を歌って軍隊式に行進する日々となりました。夏休みも冬休みも修学旅行も運動会も、期末試験ありません。学生生活は全く奪われました。2年生の間は10時間労働でした。3年生になると12時間になりました。そして、本土決戦に備えて造兵廠を山奥に移し地下工場にすることになり、私たちはそれに伴って昭和20年5月、大分県日田へ配属されることになりました。座席のない貨車に乗せられていきました。食事は劣悪

で、朝早くから夜遅くまで何の娯楽もなく働くだけの日々。いつ終わるともしれない戦争、希望も夢ももてない、辛い日々でした。

先生が慰問にきました。手紙を書いたら帰って帰ってくださるというので手紙を書きました。安心して泣き言もいっぱい書きました。「空襲はいやだ、早く帰りたい」、その時の思いの丈をそのまま書きました。喜んで先生に託しました。でも、その夜先生に呼びつけられました。先生が手紙を検閲したのです。私が女々しいことを書き連ねているという詰問でした。今でも思い出すと、心が波立ち、許せません。先生もまさに憲兵でした。

○『先生も憲兵!』・・・辛い経験ですね。それで八幡に戻れたのはいつ頃でしょうか。」

— 8月15日終戦の放送をラジオで聞きました。涙なんかでませんでした。まもなく動員は解除され8月20日、日田を引き揚げました。筑後川の鉄橋は荷物を抱えて徒歩で渡りました。そして、重い荷物を抱えて、疲労

困憊してやっと家にたどり着きました。

明かりを遮蔽していたカーテンを取り外し、何年かぶりに明々と電灯をつけました。寝間着を着て寝ました。戦争が終わったことを実感しました。

○「戦後も食糧難・重税・インフレ・朝鮮戦争勃発・レットページなど大変な時代だったと言われました。そして、その後「九条の会」と出会うことになるようですが、その頃の心境はどうだったのでしょうか。」

— そうですね、終戦直後に教えてもらった「民主主義」の響きが変わっていったような気がしました。どうして日本は無謀な戦争に向かって行ったのか、そして戦争で亡くなった人々に申し訳がたたないと、心の中で思う日々が続いていました。虚しくてむなしくて仕方ありませんでした。もしかしたら、今まで自分自身の「アリバイ」づくりをこの間やってきたのかと思ったこともありました。もう二度と同じ身にさせたくないと思っています。

亡くなった人に申し訳ないと痛切に思い、絶対に二度と戦争をする国にはならないと心に誓いました。何度も何度も日本のありように絶望しながら、九条の会にたどりつきました。つい最近、若い人たちが戦争反対の声をあげ始めました。ある若者が言っていました、「自分たちよりもっと上の年輩の人たちが、反対をしてきてくれた。だから僕達も・・・」と。私は励まされ勇気をもらいました。これからは自分で考えて、自分の言葉で、自分の意志で声をあげてほしいと切実に思います。市民の声がなくては絶対だめ。もっと底辺を支える市民を広げてほしい。再びあの悲惨な戦争を繰り返してはいけません。

「九条の会」、ここは誰でも入れます。憲法九条をまもる、そのことでもっともっと広がっていくことができますし、今必要なことです。

○本当にそうですね。九条の会との出会いの背景に、石井さんの戦争体験とその痛切な思いがあることが伝わってきました。あの悲惨な経験を繰り返すことは絶対に認めることはできません。忙しいなかでのご協力、心から感謝申し上げます。「戦争法案」廃案に向けて、これからも一緒に頑張りましょう。

8月16日、こども・いのち・へいわコンサートを戸畑で開催

8月16日のウェル戸畑の「こども・いのち・へいわコンサート」にたくさんの方に来ていただいて、大変ありがとうございました。

最近の平和を守る活動、とくに安倍政権の「戦争法案」に反対する集会などなかなか若い人たちの比重が増えないことに、「どうしたらこのような民主的な運動を若い世代につないでいったらいいのだろう」とずっと考えてきました。

数年前に、「ぞうれっしゃがやってきた」という歌をうたったとき、幼稚園・保育園・小学生から大人まで、みんなで歌って、その子供達の20代・30代の親や、おじいちゃんおばあちゃんまで、聴衆で来て、うれしそうに写真やビデオを撮ったりして、聴いてくれて、「ああ、これだな」と思いました。

歌い続けていったときに、私達の運動を引き継いでくれることを期待しています。

昨年 2014 年の2月にこの趣旨に賛同する人達で実行委員会を立ち上げて、色んな人の協力・色んな人との出会いで、コンサートを成功させることができました。

この努力をぜひ、後の活動に生かしていくためには、きちんとした「まとめ」が必要だと思います。その一つが北九州市の文化活動に対する姿勢の冷たさにぶつかりました。

アンケートの中で、会場が座るところもないほどいっぱいだったので、「もっと大きな会場で」という意見も何点かありました。このウェル戸畑は市民会館となっていますが、「社会福祉協議会」に下請けで運営させていて、何をすることも「金・か



この歌は、戦争で人間だけでなく、動物までが殺されなければならなかった時代、子供たちの楽しみを奪ってしまう戦争。歌の歌詞には「戦争反対」という言葉はないけれども、その気持ちははっきりと描かれている。

いつもは「戦争法案反対」というような集会には来ないような、20代・30代の人やおじいちゃん・おばあちゃんまでが来てくれる。

このコンサートで歌った子供達は、毎年この歌を歌いに来てくれるかも知れない。そのような世代が育っていったとき、5年先・10年先まで一緒に

ね・カネ・・・」。ピアノを動かすにしてもひな壇を作るにしても、+10万円を要求されてびっくり！マイクを使うと1本いくら、練習室・リハーサル室を使うといくら。大ホールを借りる勇気がありませんでした。

サッカー場を100億円を使ってつくる前に、一般市民が日常的に活動しやすい文化環境を整備してくれ！と言いたい。

お互い、それぞれのやりかたで、手を抜かずにがんばっていきましょう。最後にもう一度、「ありがとうございました」



映画「戦場ぬ止み」・・・拍手や共感の笑い、そして涙 会場と映画が一体となった試写会でした

9月8日(火)、戸畑生涯学習センターにおいて、「戦場ぬ止み」の試写会を開催しました。何人来るだろうかと心配しましたが、当日は会場いっぱいの参加となりました。



映画「戦場ぬ止み」の上映時間は129分ですが、あっという間に終わってしまいました。身を乗り出すように見ている人、涙をぬぐう人、そしてたびたび起こる、共感の拍手と笑い。本当に、会場と映画が一体となった試写会でした。

試写会の感動をエネルギーに、10月の本上映を成功させたいと思っています。

【上映日時】 上映時間129分

- 10月6日(火) 小倉・・・ムーブ大セミナー室 ①14時～ ②18時～
- 10月9日(金) 戸畑・・・ ①戸畑生涯学習センター 14時～
②ケアハウスらいふ戸畑 18時～
- 10月12日(月祝) 八幡・・・子どもの館(黒崎コムシティ7階)
①11時～ ②14時～

9/14 戸畑区共同委員会の集会・宣伝に100人超が参加!



9/14 八幡地区実行委員会の第2弾黒崎駅アクションに130人参加!

